

**桑木巖翼** 哲学者。「哲学概論」以降、哲学の普及とその発展に貢献し、合理的文化主義で<大正デモクラシー>に影響。

くわきげんよく

佐賀の乱・・・1874 = 東京牛込に旧金沢藩士桑木愛信の長男として生まれた。

**明治14年政変**1881 = 7歳 :

岩倉具視没・1883 = **9歳** :

**帝国憲法発布**1889 = 15歳 :

大本教・・・1892 = **18歳** :

郡司千島探検1893 = 19歳 : 第一高等中学校から\_帝国大学文科大学哲学科に進み,

**日清戦争始**・1894 = 20歳 :

\_ケーベル・井上哲次郎らに学んで,  
**卒業。**

白馬会・・・1896 = 22歳 :

八幡製鉄始・1897 = 23歳 : ミューアヘッド「倫理学」の翻訳を刊行。

Bushidou・・・1899 = 25歳 : 第一高等学校教授ならびに東京帝大講師となる。

ピア国産化・1900 = 26歳 : 翌年にかけてピンデルバント「哲学史要」の抄訳書を刊行。\*日本人の手になる最初の信頼しうる哲学概説書として、最も広くまた最も長く読まれることになる「哲学概論」を刊行。

田中正造直訴1901 = **27歳** :

教科書疑獄・1902 = 28歳 : 東京帝大助教授となり,

日比谷公園・1903 = 29歳 : **文学博士の学位を受ける。**

**日露戦争始**・1904 = 30歳 : 「デカルト」,

**日露戦争終**・1905 = 31歳 :

満鉄発足・・・1906 = 32歳 : 京都帝大の教授に転じた。

**韓国反日暴動**1907 = 33歳 : ヨーロッパ(主にドイツ)に留学し,

**伊藤博文暗殺**1909 = 35歳 : 帰国。

韓国併合・・・1910 = **36歳** :

**明治天皇没**・1912 = 38歳 :

**第一次大戦始**1914 = 40歳 : 東京帝大教授に戻る。

**ロシア革命**・1917 = 43歳 : \*日本で最初の体系的なカント哲学研究書として広く読まれることになる「カントと現代の哲学」を刊行。

**ベルサイユ条約**・1919 = **45歳** : \*吉野作造・福田徳三らとともに{黎明会}を結成して、大正デモクラシー運動の一翼を担い、左右田喜一郎らとともに文化主義を提唱して、大正期の思潮形成に影響を与える。

大暴落・・・1920 = 46歳 : 「文化主義と社会問題」,

**原敬首相暗殺**1921 = 47歳 :

\_昭和に入っても、文化主義的自由主義の立場を守り、ファシズムに対しても消極的抵抗の姿勢を維持し、

共産党事件・1928 = **54歳** :

**満州事変**・・・1931 = 57歳 :

\_東大哲学科の中心として日本におけるアカデミズム哲学の基礎をきずいて、

芥川直木賞始1935 = 61歳 : \*定年により退官,

二二六事件・1936 = 62歳 : 「哲学及哲学史研究」,

**日中戦争始**・1937 = **63歳** :

**日米開戦**・・・1941 = 67歳 :

創価学会検挙1943 = 69歳 : 「明治の哲学界」,

**敗戦**・・・1945 = 71歳 :

新憲法公布・1946 = **72歳** : \_貴族院議員となり、自由党顧問にもなったが、直後に没した。